



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社ユニカフェ 上場取引所 東
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 拓治 (TEL) 03 (5400) 5444
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 長縄 明彦 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	14,074	△10.7	447	759.6	468	—	100	—
21年9月期第3四半期	15,765	—	52	—	△525	—	△542	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	8	15	—	—
21年9月期第3四半期	△79	19	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	12,551	5,685	44.9	407	13			
21年9月期	13,255	2,629	19.4	375	62			

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 5,636百万円 21年9月期 2,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	—	—	0	00	—	—	0	00
22年9月期	—	—	0	00	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年9月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	18,610	△11.9	478	359.6	423	—	27	—	2	35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：有

新規 ー社（社名 ）除外 3社（社名 株式会社インスタメディア社、株式会社
トラベルカフェ、ビジネス・エグゼクティブ・キャリア・カンファレンス株式会社）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期 3 Q	13,869,200株	21年9月期	6,869,200株
22年9月期 3 Q	25,160株	21年9月期	24,650株
22年9月期 3 Q	12,288,651株	21年9月期 3 Q	6,844,959株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年10月1日から平成22年6月30日までの9ヶ月間)における当社グループを取り巻く環境は、国内景気の一部に景気低迷からの回復の兆しが見られたものの、雇用情勢・所得環境の悪化が続いており、厳しい状況で推移しました。

このような経営環境におきまして、当社は、平成21年12月25日を払込期日として、UCC上島珈琲株式会社(現UCCホールディングス株式会社)を割当先とした第三者割当による募集株式(7,000,000株)の発行を行い、30億100万円の増資を実施しました。

業績につきましては、新体制のもとで「コーヒー関連事業」に事業の集中化を図ることとし、「飲食関連事業」や「コーヒー関連以外の仕入商材販売事業」など周辺事業の整理・縮小を進めることとしました。

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの他、業務用コーヒー、家庭用コーヒーの分野におきましてOEM製品、NB・PB製品の販売に注力しました。景気悪化の影響と競争激化により販売単価の下落とコーヒー生豆の価格上昇による売上原価上昇の影響を受けましたが、事業再生計画の推進にかかる100日プランの完遂により、新規売上の獲得と既存取引先の深耕化の推進、さらに販売費・一般管理費の低減により、当第3四半期連結累計期間の売上高は122億98百万円(前年同四半期比1.8%減)、その営業利益は3億96百万円(前年同四半期比787.3%増)となりました。

「飲食関連事業」につきましては、第2四半期連結累計期間まで連結子会社であった株式会社インスタメディア社を通しての事業であります。当第3四半期連結累計期間の売上高は14億25百万円(前年同四半期比6.5%減)、その営業利益は29百万円(前年同四半期の営業利益は△22百万円)となりました。なお、当社は新体制のもとで「コーヒー関連事業」に事業の集中化を図ることとした事業再生計画の方針に従い、周辺事業の整理・縮小を進めた結果、平成22年4月13日付で当社が保有する株式会社インスタメディア社の株式全株を売却したため、同社は連結子会社から外れており、当第3四半期連結会計期間の始めに当該事業を終結しました。

「コーヒー関連以外の仕入商材販売事業」につきましては、食品スーパーマーケットへ食品などの仕入商材を販売する事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億29百万円(前年同四半期比85.7%減)、その営業利益は0百万円(前年同四半期比93.0%減)となりました。当該事業につきましても、上述の事業再生計画の方針に従い、第2四半期連結会計期間の始めに当該事業を終結しました。

「その他の事業」につきましては、当社グループは連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、パルプモールド製品の製造・販売を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億20百万円(前年同四半期比5.6%増)、その営業利益は21百万円(前年同四半期比16.6%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は140億74百万円(前年同四半期比10.7%減)、営業利益は4億47百万円(前年同四半期比759.6%増)、経常利益は4億68百万円(前年同四半期の経常利益は△5億25百万円)、四半期純利益は1億00百万円(前年同四半期の四半期純利益は△5億42百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比7億3百万円減少し、125億51百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が5億83百万円増加し、その主な要因は受取手形及び売掛金が9億95百万円増加しましたが、現金及び預金が2億19百万円、商品及び製品が35百万円、原材料及び貯蔵品が57百万円、その他が1億23百万円それぞれ減少したことによります。また、固定資産が12億87百万円減少し、その主な要因は有形固定資産が5億82百万円、投資その他の資産が6億96百万円それぞれ減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末比37億59百万円減少し、68億66百万円となりました。増減の内訳は流動負債が36億93百万円減少し、その主な要因は短期借入金が24億24百万円、支払手形及び買掛金が4億8百万円、1年内返済予定の長期借入金82百万円、その他が6億21百万円それぞれ減少したことによります。また、固定負債は65百万円減少しました。

純資産合計は、前連結会計年度末比30億55百万円増加し、56億85百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.9%となり、前連結会計年度末比25.5ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の業績予想につきましては、現時点において平成22年5月11日に公表いたしました業績予想の変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年4月13日付で当社が保有する株式会社インスタメディア社の株式全株を売却したため、同社は連結子

会社から外れております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

主として定率法を採用しているため、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用の計算については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末に使用した将来の業績やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,301	1,276,174
受取手形及び売掛金	4,312,934	3,317,883
商品及び製品	254,841	289,966
仕掛品	39,862	26,075
原材料及び貯蔵品	265,235	323,158
繰延税金資産	—	158
その他	129,591	253,137
貸倒引当金	△12,995	△24,333
流動資産合計	6,045,771	5,462,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,502,583	5,159,565
減価償却累計額	△1,456,885	△1,499,383
減損損失累計額	△161,393	△324,903
建物及び構築物(純額)	2,884,304	3,335,278
機械装置及び運搬具	3,254,891	3,261,916
減価償却累計額	△2,607,199	△2,542,593
減損損失累計額	△200,182	△206,498
機械装置及び運搬具(純額)	447,509	512,824
土地	1,729,525	1,729,525
その他	218,472	347,984
減価償却累計額	△165,405	△212,555
減損損失累計額	△1,512	△18,122
その他(純額)	51,554	117,305
有形固定資産合計	5,112,893	5,694,933
無形固定資産		
その他	91,223	100,283
無形固定資産合計	91,223	100,283
投資その他の資産		
投資有価証券	684,234	1,077,536
破産更生債権等	3,982,432	3,987,586
繰延税金資産	105,820	105,820
その他	234,931	533,251
貸倒引当金	△3,705,811	△3,706,235
投資その他の資産合計	1,301,607	1,997,958
固定資産合計	6,505,724	7,793,175
資産合計	12,551,495	13,255,398

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,393,883	3,802,327
短期借入金	3,112,214	5,536,550
1年内返済予定の長期借入金	—	82,276
未払法人税等	12,238	14,996
賞与引当金	21,320	72,974
事業構造改善引当金	—	102,900
その他	232,027	853,482
流動負債合計	6,771,685	10,465,506
固定負債		
長期借入金	—	29,500
負ののれん	74,186	94,419
その他	20,246	36,296
固定負債合計	94,433	160,216
負債合計	6,866,118	10,625,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	2,711,500
資本剰余金	1,020,799	2,898,600
利益剰余金	508,521	△2,935,270
自己株式	△38,560	△38,282
株主資本合計	5,707,260	2,636,547
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26,558	△30,247
為替換算調整勘定	△44,357	△35,348
評価・換算差額等合計	△70,915	△65,596
少数株主持分	49,033	58,724
純資産合計	5,685,377	2,629,674
負債純資産合計	12,551,495	13,255,398

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	15,765,918	14,074,162
売上原価	12,893,785	11,287,407
売上総利益	2,872,133	2,786,754
販売費及び一般管理費	2,820,046	2,338,997
営業利益	52,087	447,757
営業外収益		
受取利息	2,691	1,127
受取配当金	3,275	2,202
持分法による投資利益	—	35,092
負ののれん償却額	20,232	20,232
受取家賃	48,655	54,333
デリバティブ利益	—	46,988
その他	29,405	36,607
営業外収益合計	104,260	196,585
営業外費用		
支払利息	79,359	66,394
有価証券運用損	96,253	—
デリバティブ損失	51,755	—
持分法による投資損失	79,346	—
貸倒引当金繰入額	233,000	—
その他	142,054	109,228
営業外費用合計	681,769	175,623
経常利益又は経常損失(△)	△525,422	468,719
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	22,946
貸倒引当金戻入額	7,809	1,737
投資有価証券売却益	2,627	1,236
その他	3,206	7,463
特別利益合計	13,643	33,383
特別損失		
投資有価証券評価損	23,732	—
関係会社株式売却損	—	236,267
減損損失	18,979	26,657
その他	10,842	43,101
特別損失合計	53,554	306,026
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△565,333	196,076
法人税、住民税及び事業税	7,752	7,508
法人税等調整額	△2,143	159
法人税等合計	5,609	7,667
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△28,923	88,308
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△542,018	100,100

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年12月25日付でUCC上島珈琲株式会社(現UCCホールディングス株式会社)から第三者割当増資の払込みを受けました。また、平成21年12月22日開催の定時株主総会決議に基づき、平成22年2月1日(債権者保護手続の完了による効力発生日)に、資本準備金4,403,600千円のうち3,893,200千円及び利益準備金156,800千円の全額を減少し、その他資本剰余金と繰越利益剰余金に振り替えるとともにもう資本剰余金3,893,200千円のうち3,382,800千円及び別途積立金174,000千円の全額を当期の繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,505,000千円増加、資本準備金が2,388,200千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,216,500千円、資本準備金は510,400千円となっております。